

エモーションシリーズ 7本ツインスポーク登場!

RIMS for Stance No.02

スタンスモディファイに一番重要なホイール情報をお届けする当コーナー。今月もホットな情報を入手! まずは本誌でもファンが多いワークエモーションシリーズの最新作ZR7を紹介するぞ。新型プリウスにちょうどいい新作エモーション、以後お見知りおきを!

WORK EMOTION ZR7

ワーク エモーション ゼットアールセブン



ディスク面はなだらかなコンケイブ形状でセンターサークル部を深く落とし込んでいる。ナットホール部外周のアンダーカットや5つのデザインホールなど無駄なぜい肉を落として軽量化が図られている。

スポークエンドは緩やかな傾斜を描いてフランジにつながっている。そのリム部の一段奥にWORKEMOTION WORK WFTのロゴを刻むことによってディスク部の立体感が強められている。



鍛造の限界に挑むような細いツインスポークにはリブが設けられており強度アップが図られている。ツインスポークの先端はフランジまで延ばされアウターリムにかかる負荷をしっかりと受け止めるとともにワンサイズ上の大口径感をアピールしている。



BASE CAR: 2023 TOYOTA PRIUS
WHEELS: WORK EMOTION ZR7 (F&R=19 x 10.5J+22)
TIRES: F&R=245/35-19
SUSPENSIONS: OG-WORK SPEC OG-Z COILOVER
TUNING: OG-WORK MUFFLER

OG WORKS × TOYOTA PRIUS



車高調は全長調整式 / 24 段階減衰調整 / SPL ピロアッパーマウントの「走る」と「魅せる」を両立させた OG-Z。OG ワークスはこれまで数多くのプリウスをカスタマイズしてきたがこの 60 プリウスでこだわったのがキャンパー角。鬼キャンにすればインパクトが強まり、ワイドサイズのホイールが収まるがタイヤの内減りが酷く快適に走ることができない。そこでキャンパーアーム+ロアアーム加工によってキャンパー角を前後 6 度に抑えつつ 19 x 10.5J + 22 のワイドサイズをフェンダーに干渉させることなく綺麗に収めている。

WORK EMOTION ZR7	
SIZE	17x7.0~9.0J / 18x7.5~10.5J / 19x8.0~10.5J
H-PCD	4H-98 / 4H-100 / 5H-100 / 5H-114.3
COLOR	GLOW GUN METAL / TITANIUM WHITE / MATTE BLACK
PRICE	5万2800~7万1500円

ボディをデコレイトしているエアロパーツはローフォルムとのマッチングに優れたフォルムのフラップタイプ。心地良いサウンドを奏でるデュアルテールエンドのセンター出しマフラーは開発中の試作品。

ワークはストリート用ホイールだけでなくモータースポーツ用ホイールの開発にも積極的に取り組んでいる。オーバー 500ps のパワーをスリックタイヤで引き出す GT500 の場合、ホイールにかかる負担はハンパじゃない。強度 / 剛性に優れるのももちろんのこと、コンマ 1 秒を競うための軽量化が求められる要素をハイレベルで両立させる必要がある。そんなモータースポーツ用ホイールの開発から得られる貴重なデータが惜みなくフィードバックされているワークの市販スポーツホイールが「マイスター」や「エモーション」だ。

エモーション ZR7 はディスク面をコンケイブ形状にしたシャープな 7 本ツインスポーク。鍛造でありながらも

リム部分には圧力をかけながら伸ばして成型するフローフォーミング製法が採用されている。これによって強靱なリムが形成されて鍛造に迫る強度を確保している。またリムだけでなくスポークからセンターサークル部まで細部にわたってワークが蓄積してきた強度アップ & 軽量化のノウハウが注ぎ込まれているのも注目ポイント。

そしてストリート用ホイールの場合、性能を重視しただけではダメ。クルマの魅力を引き出すファッション性が要求されてくる。このエモーション ZR7 を履いた 60 プリウスは OG ワークスのデモカーでセレクトしたのは 19 x 10.5J + 22 のワイドサイズ。オリジナルの車高調でローダウンさせて 7 本の足長ツインスポークが華麗な足元を描き出している。